熊歯会報

Kumashi Kaihou

2013
1
January
No.681

熊本県歯科医師会

熊歯会報 1月号

2013

歯科医師の倫理綱領

われわれ歯科医師は、日頃より歯科医学および歯科医療の研鑽を通じて培った知識や技術をもって、人々の健康の回復と疾病の予防のために貢献するものである。

一、専門職として歯科医学と歯科医療の発展のために尽くし、医療倫理の実践に務める。

一、専門職であることを念頭に、法を遵守し適切な説明を行い、常に愛情を持って患者のために社会的使命を果たすように努める。

一、自己の知識、技術、経験を社会のために提供し、社会福祉および国民の健康向上のために努める。

社団法人　日本歯科医師会

―表紙に寄せて―

明けましておめでとうございます。

紅白のへび、金屏風、緑のバックと縁起の良い色で構成してみました　（T.S）

年頭所感（会長 浦田 健二）…… 3

理事会 …… 4・5

年頭所感（日歯会長 大久保 満男）…… 6

委員会だより …… 7～13
（総務・厚生、学術、医療対策、事業課）

学院だより …… 14・15

報告：リニューアルされた
口腔保健センター …… 16・17

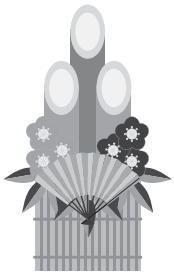
年男年女 …… 18～25

郡市会だより …… 26～28
（荒尾、下益城、阿蘇、天草）

新入会員 …… 29

会務報告 …… 31・32

年頭所感



熊本県歯科医師会会長　浦　田　健　二

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、新たな年を健やかにお迎になられたこととお慶び申し上げます。

昨年は、例年以上に様々な事業、本会会務の運営に対しまして、ご支援、ご協力を賜りましたことに、心より御礼申し上げます。

平成22年11月に、「熊本県歯及び口腔の健康づくり推進条例」が施行され２年が過ぎましたが、フッ化物の応用等、まだまだ思うように進んでいない事は多くあります。しかしながら確実に県行政、議会を始め医療関係団体の皆様に、歯科保健の重要性をご理解いただけるように成って参りました。その成果として、昨年度より３つの事業が進み始めております。

まず１つ目は、２年間全県下で熊本型早産予防対策事業として、妊婦健診時に歯科健診を２回行う事業が始まりました。歯科の予算だけで年約2000万円の事業であり、２地区で行ったモデル事業と同様に早産と歯周病との関係が、全県下でもはっきり出れば継続事業と成る予定です。

更に２つ目は、糖尿病と歯周病の関係についての事業で、糖尿病地域連携パス（DM熊友パス）に医科、薬科より歯科に繋げるパスを新設し、糖尿病連携手帳の中に歯周病の項目が入りました。又、医科の糖尿病協力医の研修で歯周病の講義を行なうようになりましたし、医科・歯科の紹介についても、医科から歯科、歯科から医科への糖尿病診療情報提供書の整備を行い、一部の郡市でモデル的に連携を始めています。今年は更に多くの郡市で連携を進めていきたいと思っております。

そして３つ目は、熊本県がん患者医科歯科医療連携事業。これは、日本歯科医師会が独立行政法人国立がん研究センターと関東５都県歯科医師会（東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県、山梨県）との間で始めた事業ですが、本県でも、国立病院機構熊本医療センター、熊本赤十字病院、済生会熊本病院の３つの地域がん診療連携拠点病院と、がん患者の合併症等の軽減を目的とした連携事業の推進を始める事で合意しております。２月までには協定書の調印を行ない、４月から開始する予定です。そして、県内のすべてのがん診療連携拠点病院まで広げていく予定です。その為会員の皆様には、まずは、昨年10月から今年の３月までの間に約６時間の研修をⅠ、Ⅱ合わせて12時間受講して頂いており、誠に申し訳ありませんが、患者さんの為に一人でも多くの先生に受講して頂き、協力医に成って欲しいと願っております。

今後も定期的に研修を続けこの事業が将来、病院との連携まで繋がれば、介護、在宅診療まで広がると信じています。その為にも、診療室から外に出て頂くきっかけの一年にしてほしいと願いつつ年頭のご挨拶とさせて頂きます。今年も宜しくお願い致します。

理事会報告

引き続きご協力をお願いします

― 第９回理事会 ―

12月28日（金）午後５時より県歯会館 第１会議室において、浦田会長ほか全役員出席のもと、議長を浦田会長、議事録署名人を前田理事、田上理事として第９回理事会が開催された。

開　会：小島副会長
挨　拶：浦田会長

今年は、九州歯科医学大会や全国学校歯科医協議会を本会担当で開催し、また、がん連携をはじめ新規事業に取り組み実績を残され、一年間大変お世話になりました。来年は、これまで役員の先生方のご尽力で得たものを確固たるものにしていきたいと思いますので、引き続きご協力の程よろしくお願い申し上げます。ところで、会務を運営していく中で、いろいろな場面で判断に思い悩む事もありました。そんな時には私が尊敬する安岡正篤先生の六中観、忙中有閑（忙しい時に掴んだものこそ本当の閑である。）、苦中有楽（苦しい時に掴んだ楽こそ本当の楽である。）、死中有活（身を棄ててこそ浮かぶ瀬もあり。）、壷中有天（どんな境涯でも自分だけの内面世界は作れる。）、意中有人（心中に尊敬する人、相ゆるす人物を持つ。）、腹中有書（身心を養い、経綸に役立つ学問をする。）を常に心に留めて、いかなる場合にも絶望したり精神的空虚に陥らないように対処してまいりたいと思っております。役員の先生方にも何かの局面で苦慮された時には思い出していただければ幸いです。今年一年ご苦労様でした。

会務報告：（自：11月26日～至：12月24日）

本会総務：理事会、常務理事会、各郡市会長・専務理事連絡会議、がん連携拠点病院との運営協議会
学　　術：外傷歯の診断と治療に関する講演会
社会保険：周術期口腔機能管理用文書
地域保健：笑顔ヘルＣキャンペーン反省会
広　　報：会報編集・校正、テレメッセ打合せ
学校歯科：全国学校歯科保健研究大会準備委員会、長洲町フッ素洗口
医療対策：医療トラブル講演会、医療相談苦情事例報告
センター・介護：口腔ケア指導者養成研修会、

介護者歯科実技研修会、熊日・スミセイさわやか介護セミナー
総務・厚生：災害対応マニュアル
学　　院：中島学園との打合会、臨床実習場反省会
国　　保：組合員の資格調査
事 業 課：奥様医業経営塾
以上、各担当役員より報告がなされた。

会務報告その２：

１．一般社団法人認可後の登記事務の代行業者
実績や地理的位置の優位性を考慮し、司法書士真弓賢治事務所へ登記事務を委託することとした。

２．平成25年度（８月）九地連協議会（熊本）の開催期日
日時：平成25年８月３日（土）午後２時30分
会場：熊本ホテルキャッスル

３．よ坊さん＆くまモンパネルの作製
会館や学院に置いたり、歯の衛生週間や笑顔ヘルＣキャンペーンなどのイベントの際に使用する目的で作製する。

４．熊日出版文化賞への応募作品依頼
本会で発行した「維新の若きサムライ、一井正典とその時代」を熊日出版文化賞へ応募する。

５．主婦連合会からの「集団フッ素洗口等の反対」声明
主婦連合会より「集団フッ素洗口等の反対」声明文が届いたが、内容に信憑性が全くないので反論することはせず、本会としては今後も日歯や日学歯と同様にフッ素洗口等のフッ化物応用を推進していく。

６．フッ素洗口推進のホームページ掲載記事
佐賀県では、小学校におけるフッ素洗口者が平成20年以降日本一であり、その効果の表れで12歳児の１人平均むし歯数が、さらに減少し数年以内には日本一となる見通しである。

７．熊本型早産予防対策事業市民公開講座
熊本大学及び本会の主催で、平成25年２月11日（月・祝）午前10時から12時まで県歯会館において開催する。

８．会計11月末現況

９．１月行事予定

協　議：

１．新入会員の承認〔承認〕
内山　順誠（人吉市／一般）、松枝　勝興（八代／親子）計２名の入会を承認した。

２．第16回中規模県歯科医師会連合会の提出協議事項〔承認〕
提出協議題があれば、渡辺専務理事または事務局まで連絡することとした。

３．平成25年度各委員会の事業計画（案）並びに予算（案）〔承認〕
原案どおり承認し、３月の通常代議員会・通常総会に議事として提出することとした。

４．一般社団法人移行後最初の役員の退職金〔承認〕
移行後最初の３ヶ月間の役員は現役員が就任するため、２年と３ヶ月分に相当する退職金をまとめて支給することとした。

５．平成25年度会費及び負担金の賦課額・賦課率並びに徴収方法（案）〔承認〕
原案どおり承認し、３月の通常代議員会・通常総会に議事として提出することとした。

６．理事の時間
田上理事より糖尿病・歯周病の医療連携の説明がなされた後に、活発な意見交換が行われた。

監事講評：片山監事、西野監事

閉　　会：宮坂副会長

（広報　加藤　久雄）

年頭所感

日本歯科医師会　会長　大久保　満　男

新年おめでとうございます。会員の先生方におかれましては、お健やかに新たな年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。また、昨年は、本会会務の運営に対しまして、多大なるご理解とご支援を賜りましたことに、心より感謝申し上げます。

一昨年の歯科界における最も大きな出来事は、「歯科口腔保健法」の制定でありました。

本法律は、国の基本法として位置づけられています。言うまでもなく「基本法」とは国の政策の方向性を定めるための法律であると考えると、この法律の大きな意味が理解できると思います。

この法律が制定された最大の理由は、その第一条の目的で記載されたように、口と歯の健康が国民の全身の健康を保つことに貢献すると明記されたことにあります。

ここでわれわれが確認しなければならないことは、このように条文化されるまでに、多くの研究が長い年月に亘って続けられ、それを国が正確な根拠として認定したことです。

それは、平成元年に始まった8020運動のその少し後に開催されたワークショップのテーマが、「伝承から科学へ」だったことからも伺い知れることです。つまり20年前には、口と歯の健康が全身の健康に繋がる根拠は、単なる「言い伝え」にすぎず、その「科学的根拠」を持たなかったということを、われわれが認識していた、いや認識せざるを得なかったということだと思います。

この20年間、私は、何度も、歯科には根拠がないということを聞かされてきました。その意味からいえば、今回の法律の制定は、長年の苦労と、いわば屈辱が晴らされたことだといえるでしょう。

さらに、画期的なことは、本法律の制定の前後に、地域の条例が立て続けに制定されたことです。いまや、都道府県の半数に、さらに市町でも20を超える地域で条例が制定されています。地域の歯科医師会のエネルギーに心からの敬意を捧げます。

私は、条例制定の記念行事に多くの地域からお招きを受け、講演やシンポジウムでお話し、また知事や市長とディスカッションする機会を得ました。そこで、常に感じたことは、この多くの歯と口の条例に関する意識や目的が、地域によって異なることです。つまりどこを切っても同じ顔が出る金太郎飴ではなく、その地域固有の健康に関する課題を、この条例で解決したいという熱い願いが、これらの条例の精神に込められています。ある県は、健康寿命の日本一を達成するために条例を作り、またある県は、糖尿病の罹患率や死亡率を何とか減少させるために等々。この多様性は、わが国の社会の在り方の中で、画期的な状況を生み出していると思っています。

世界最速で超高齢社会に到達したわが国にとって、国の基本法と地方の条例が相乗効果となる状況をうみだすように心から祈念し、また本会としても努力することをお誓い申し上げますとともに、今年が先生方にとって良い年であることを願って新年のご挨拶といたします。

46機関2000名の参加者

― 熊本県・八代市総合防災訓練 ―

総務・厚生委員会

11月18日（日）午前９時20分より八代市球磨川河川緑地において、熊本県・八代市総合防災訓練が行われた。この訓練は、八代市を震源地とするマグニチュード7.0の地震が発生、八代市内で震度６強を観測し、人的・建物等被害が甚大で、多数の火災および沿岸部での津波による家屋の倒壊等未曾有の被害が発生しているという状況設定で行われた。訓練参加機関は、警察・消防・陸上自衛隊をはじめ46機関の参加があり、球磨川河川緑地をメイン会場に、日奈久小学校、熊本労災病院、県八代総合庁舎の４つの会場で、地域住民も合わせ全体で約2000名もの参加者で行われた。今回は、緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練も合わせて行われ、九州各県から消防・救急隊員や車両が集結し、大規模な訓練となった。

総合防災訓練のプログラムとして、検視班による検視活動、歯牙所見による個人識別訓練が行われ、熊本県警察医会、熊本大学大学院法医学分野、熊本県歯科医師会、熊本県警察歯科医会、熊本県警本部刑事部捜査第一課検視係が参加した。警察医会の川口睦奥男会長と担当理事牛島の挨拶のあと、被害発生後ご遺体が搬送されてきたという想定で、実際の歯牙標本を用いた個人識別訓練を行っていった。歯科医師会から参加した会員は５班に分けられ、２名のペアとなって標本を確認しながら、正確かつ確実にデンタルチャートへ記入していき、警察医会の先生方から丁寧にアドバイスしていただいた。

早期の身元判明には日頃の訓練・連携が重要

大規模な訓練

歯科所見からの身元確認については、先般の東日本大震災においても、使用するデンタルチャートが県によって様式が異なっており、本会から東北へ身元確認作業に参加された会員からも混乱があったと伺っていたが、この度日本歯科医師会は全国統一の様式を作成し、今後、県歯会員にも警察歯科医会研修会等でお知らせしたいと考えている。現在、全国47都道府県において、防災計画に歯科医の活用を盛り込んでいるのは31都府県に上る一方で、歯科医参加の防災訓練は14都府県にとどまる。「早期の身元判明には日頃の訓練・連携が重要」という声が上がっているが（毎日新聞11月10日配信）、熊本県では歯科医師が参加した防災訓練は東日本大震災以前より行われており、歯科の役割の重要性については、本県では認識度が高いことがうかがえる。吹きさらしのテントで、寒い中真剣に訓練に参加していただきました先生方には、改めてお礼申し上げます。お疲れ様でした。

歯科医師会会員訓練参加者（敬称略・順不同）
矢毛石陸男・吉田皓一・武末憲一・兼子賢之
真田志・前崎正・右山裕則・高田博樹
蓑田亮・若江秀敏・中山万弘・東田英典
牛島隆

（総務・厚生　牛島　隆）

国税局・日歯からの情報は余すところなく伝達

― 熊本国税局管内税務指導者協議会 ―

学術委員会

11月22日（木）午後２時より大分県歯科医師会館にて平成24年度熊本国税局管内税務指導者協議会が開催された。２部構成で１部は日歯と各県歯科医師会の協議、２部は国税局との協議であった。本県より椿学術担当理事、有働同委員が出席し、熊本国税局の管轄は大分・宮崎・鹿児島・熊本の４県で、担当者総勢18名の出席であった。担当県の大分県歯会藤田浩専務理事より開会挨拶後、大分県歯会長尾博通会長、日歯青申連内藤征男副会長の挨拶があった。出席者紹介に続き大分県歯会長野敏朗医療管理担当理事の座長で会議が始まり、内藤副会長より日歯報告があった。

内容のある有意義な会議

第１部

日歯報告

１、青申連を今後も存続していく

消費税引き上げ、その他医療機関における税に関しての制度について会員のマイナスにならないように考えていく。

２、事業

全国各管内における国税局協議会の開催（全国12か所）

各種アンケート調査実施（医業収入）

モデル地区（青申連30地区、適正モデル14地区）の今年度での廃止決定

また、平成25年度税制改正に関する日歯からの重点要望事項は以下の通り。

① 原子力損害賠償金（仮払い金を含む）は、国税・地方税の課税上、非課税所得とする等、税制上の優遇処置を含めた税制の抜本改革

② 社会保険診療などに係る医療機関等における消費税負担

③ 社会保険診療報酬に対する事業税非課税の特例処置の存続

④ 社会保険診療の所得計算の特例処置（いわゆる４段階制）の存続

⑤ 医療機器に係る特別償却制度

中小企業投資促進税制と同等の措置が受けられるよう、特別控除制度の導入、特別償却率の引き上げ、適用対象機種の追加、適用対象となる所得価額の引き下げの措置を講ずるとともに適応期限の延長

協　議

管内各歯科医師会の現況で、大分県では調査件数は以前よりやや増加傾向にあるとした。

指摘事項

・接待交際費が経費にあたるか
・青色専従者給与が多い
・無料で行った診療費、身内の歯科治療
・撤去冠売却費用の収入計上がなされているか
・年度をまたいで治療が行われた自費治療費用の計上時期
・車の経費分の割合
・窓口収入
・医業関係でない土地売買での不備
・専従者以外の親族の給与
・休業補償の掛け金が経費にならない
・学資保険の満期申告漏れなど

適正申告推進モデル地区の活動状況について、中津歯科医師会渕野智弘青色申告会専務理事より報告があった。

中津歯科医師会42医療機関中会員の青色申

告者数42人で普及率100%であり、実施状況として税務講習会「国税庁レポート」中津税務署長、税務署訪問（会長・専務）、中津青色申告会会議・総会の実施、中津歯科医師会月報投稿年６回発行（税のしるべ）を実施、平成24年度の税務調査状況として法人１件、個人１件あり、個人指摘事項として外注技工預けの金属、研修交通費の扱い（発生主義）を挙げた。

その後、日歯嘱託税理士伊東貞氏より平成24年度税制改正と歯科クリニックの経営実態についての説明があった。

各県歯科医師会の提出協議題

・税務関連情報の会員への伝達について（宮崎県）

各県とも国税局、日歯から通知があった際に、会員の伝達に留まっているのが現状

・熊本国税局管内税務指導者協議会の今後の開催について（大分県）

鹿児島県、熊本県ともに開催県に一任。宮崎県は今後会員の経営において無視できない税制改革が行われる可能性がある以上国税局の見解を直接聞ける会議は必要、もし廃止にしてしまうと再び立ち上げるのは不可能と考えるので存続すべき

日歯青申連への質問

・マイナンバー制度（納税者番号制度）について（大分県）

低所得者をどう把握していくのかが目的で今検討中。

・日歯青申連の解散について（中津市歯会）

日歯は名称、形を変え事業は続けていく予定。各県歯、郡市歯においては会員にとって何が大切かという事を考えこれまで通り事業を継続してほしい。

第２部

第２部の協議に入り、熊本国税局個人課税課林一衛課長の挨拶後、熊本国税局中村直美記帳指導専門官より税務の現況、会員指導について説明があった。

まず、消費税について、平成26年に８％、平成27年に10%に引き上げられることが決定されていることを述べられた。

監査時注意していただきたい点

・家族との食事、ゴルフ、取引先以外との飲食等は家事費に含まれる。

・収入の計上漏れ（販売物未収金、自費計上漏れ）

撤去冠の処理について、自販機の売り上げ、講師料、各種保険満期時の計上等、

・福利厚生費に関して（会食、旅行に関して事業者側が全額負担すると従業員の給与扱いとなり納税義務が発生するので注意）また事業に直接関係しているか否かで判断

・経費の範囲（接待費、交際費は物品３千円、飲食５千円が常識の範囲と考える）

・専従者給与の限度額（常識の範囲内との回答）

また、e-TAXの普及率は平成25年までに50%目標で歯科医師は67%の普及率。

平成24年度税制改正について特に強調された事項

・給与所得者の方は平成25年１月１日以降に支払を受ける給与などから所得税及び復興特別所得税が源泉徴収されることになる。

・国外財産調書制度の設立

これまでは国内における財産に対して適用だったものが今後は海外に5,000万円を超える財産（土地、建物他）を所有している場合、平成26年１月１日以降に提出すべき国外財産調書について適用される（平成27年３月15日までに提出しないといけない）

以上、協議中活発な意見が飛び交い内容のある有意義な会議となった。今後も熊本県歯会医療管理では税務に関して、国税局・日歯からの情報は続けて余すところなく的確に情報を伝達していく予定です。

（学術　有働　秀一）

外傷歯は残せる!!

― 学術講演会 ―

学術委員会

12月2日（日）午前10時より県歯会館４階ホールにて、愛知県ご開業の月星光博氏をお招きし「外傷歯の診断と治療」と題して学術講演会が開催された。同講師は30年近くに渡り、外傷歯の治療に取り組む中で歯髄や歯根膜の大切さや処置法に精通し、現在では米国ロマリンダ大学の非常勤講師や国際外傷歯学会の会長を務めるなど世界的に活躍されている。小雨の混じる大変寒い天候であったにもかかわらず参加者は180名を超え関心の高さが伺われた。添島学術委員長の司会進行の元、浦田会長の開会の挨拶の後、講演会は始まった。

まず初めに、数例の転倒や交通事故などによる若年者の歯の破折や脱落の症例を紹介され、如何に保存的に処置が可能であるかの実例を提示された。回復は難しいと思えるような症例が見事に長期に安定した経過を示しており、その結果の素晴らしさに参加者一同、驚きの表情が隠せない様子であった。そして治療を成功させるために如何に的確な診断を行い、また処置を行うかのポイントを解説された。中でも受傷により変色し、根尖病巣を形成し始めたと判断される症例でも、６ヶ月ほど待つことで回復する可能性もあり、齲蝕とは違う病態であることを強調された。また、処置にあたってはラバーダムの使用や少ない根管治療回数を心がけることを推奨された。

昼食をはさんで午後はAndreasenの外傷の分類に沿った症例の提示とその処置のポイントを一つ一つ丁寧に解説された。診断では随所にＣＴが用いられ、その有用性が示され、

外傷歯治療の第一人者の月星氏

電気歯髄診断の見方も詳しく解説された。そして、不幸にして抜髄に至った場合でも如何に歯質を保存しMIのコンセプトでコンポジットレジンを有効に活用するかが長期に歯牙を保たせる秘訣であることを説かれた。最後に下顎小臼歯部の埋伏過剰歯を外傷により保存不能な上顎前歯に移植した症例を提示され、的確な診断と手技を行えば非常に成功率が高い処置法であることを紹介され、一同これまでの移植に対する概念が一転した思いであった。

午前・午後を合わせ約5時間に渡り講演が行われたが、退屈する間もなく実に短く感じられた。最後は直接挙手による活発な質疑応答が行われ、小島副会長による謝辞の後講演会終了となったが、終了後も数十分に渡り質問者が詰め寄る場面が見られ、参加者一同大満足の１日となった。

（学術　堀川　　正）

不当要求に負けない!!

― 医療トラブル講演会 ―

医療対策委員会

12月８日（土）午後４時より県歯会館４階ホールにおいて医療トラブル講演会が開催された。本年度は、熊本県警本部組織犯罪課より中村敏就警視、藤内智実警部補、中村朋義巡査部長の三氏をお招きし、「不当要求に負けない為に！暴力団やクレーマーなどの撃退法を学ぶ」というテーマで講演して頂いた。

原田秀一郎委員の司会の元に、浦田会長の挨拶の後、講演が始まった。今回は100名近い参加者があり、女性スタッフの参加が多かったのが特筆すべきことであった。

本番さながらのロールプレー

第一部

暴力団に関する解説

中村敏就警視より暴力団の実態、暴力団対策の概要、暴力団排除条例について説明があった。それによると、暴力団員は全国で現在約７万人、暴力団対策法により減少はしてはいるが、九州では指定暴力団は７つあり、明治からの経済の発展と共に発展してきた歴史があり、現在跡目争いで抗争が多発しているとのことであった。また、暴力団対策の概要としては「人（若者）・物（武器）・金」を断つことを基本にしているが、暴力団の資金源は多様化していて、公共事業に参入し、その賛助金で資金を得ているケースもあり、その場合は文書で暴力団でないことをあらかじめ表明・確約させて対応しているとのことであった。

最後に暴力団排除条例では、

１）　資金源対策
２）　事務所対策
３）　地域対策

を三本柱にし、事務所対策では本来作らせないが、学校などの保護対象施設から200メートル以内には開設、運営をさせず、地域対策としては「暴力団体立ち入り禁止」の標章などで対策しているとの説明があった。

第二部

ロールプレーニング

藤内智実警部補より、まず基本的対応の説明があり、それによると

１．相手・要件を確認する。
２．有利な場所で会う。
３．複数で対応し記録を取る。
４．対応時間を決めておく。
５．即答や約束はしない。
６．トップは対応させない。
７．機を失することなく、警察へ通報。

であり、警察側の支援として相談に対して適切な対応や有事の時の緊急出動、保護対策を取るとの説明があった。この後、藤内智実警部補と中村朋義巡査部長によるロールプレーニングが開始された。「上顎前歯部に保険の効かない８万円の入れ歯を入れたが、他院ではちゃんと契約書を交わして入れている。高いし治療には契約書が必要ではないのか、いい加減な治療をしているのではないか」言って二人が乗り込んでくるシチュエーションであった。これに対して会場の中から歯科医師代表として、井手裕二会員に参加してもらい、計３名で対応されたが、終了後の藤内智実警部補の講評では、このロールプレーニング方

式の講習としては高得点の90点であり、ほぼ適切な対応が出来ていたとの事であった。注意点として、最初に名刺を貰う等相手の確認をする事、後で警察が駆けつけてきた時、お茶が出ていたら歓待されていると相手に主張されてしまうので、お茶は出さない。

また、診療所は自分の管理区域であるから、毅然と録音を取るなどすれば満点とのことであった。最後に当委員会発行の「日常臨床と法」から引用し、口頭での説明であっても治療契約は成立しており、有効との補足説明があった。理論武装の為にもこの本の熟読を推奨された。

第三部

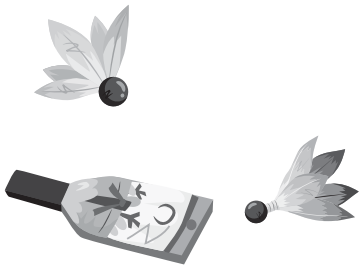
DVD研修

最後にDVDを鑑賞して５つのケースについて解説があった。

1．交通事故に関わる不当請求
2．店内で滑ってケガをしたという不当請求
3．マンションでの賃貸トラブル
4．政治結社の冊子の不当な購読要求
5．近隣トラブル解決の介入し、不当な要求をしてくるケース

いずれのケースでも、一人で抱え込まず、その場限りの対応で切り抜けようとはせず、特に熊本県暴力追放運動推進センター（TEL096-382-0333）に相談するのが一番だということであった。以上の研修が終了後、質疑では、「夜遅くまで診療している歯科医院の防犯」について質問があり、これに対し中村敏就警視より、ビデオカメラの設置があればいいが、傾向として、診療終了後、医院から出る時が一番狙われるので、気を付けて退出し、できれば複数で帰宅する。また、必ず下見に来るので日頃から注意し、万一押し込まれたら抵抗せず、幾ばくかの現金を渡すのも、やむを得ないとの回答であった。今回の研修会で取り上げたように、医療トラブルは、あっては困るが避けては通れない医療人にとっては永遠の課題と言えよう。その時役に立つのは、理論武装と経験知と歯科医師会という組織のバックアップであると考える。本委員会は、これからも全力を挙げてトラブル対応を続けて行くが、会員の先生方、個々の経験知を挙げ、理論武装を怠らない為にも、医療対策研修会への参加が必要であると思われる。

（医療対策　温　　永智）



私たちが医院を支える！

― 第４回　奥様医業経営塾 ―

９月27日（木）今年度は２回目になる「奥様医業経営塾」を、前回同様、㈱リスクマネジメント・ラボラトリーの協力により開催しました。前回までは、午前中からお昼をまたがった時間で企画していましたが、今回は受講時間をずらして午後のみに企画しました。８名限定の枠に対し、７名の参加。牛島理事の挨拶で開講し、２週間ごとに下記の内容にて研修が行われました。

第１講　試算書・決算書の見方
第２講　賢いお金の借り方・返し方
第３講　やさしいマネー講座
第４講　クリニックに関わる税金・税務調査知識
第５講　クリニックのための人事労務
第６講　クリニックのための相続対策・まとめ

講師は講座内容ごとに、㈱リスクマネジメント・ラボラトリー支店長・甲斐氏、同社部長・長尾氏、同社ﾌｧｲﾅﾝｼｬﾙｺﾝｻﾙﾀﾝﾄ緒方氏、税理士法人熊和パートナーズ代表社員・岡野氏、クロスフィールズ人材研究所の代表社労士・三浦氏の４名。

少人数での受講なので受講者の様子を見ながら進めていくことが出来、また受講者側も質問がしやすく毎回たくさんの質問が飛び交い、ブレーンストーミング形式で講師・受講者皆が一つとなった講座となりました。最終日の12月６日（木）には、八木常務理事より挨拶があり全員で記念撮影。最後に修了証授与にて閉講。「もうお終わりなの？」「寂しいね。」という声も聞こえて、名残惜しそうにお互いの連絡先を教えあう光景。終わっても皆さんいつまでもお話が止まらず、「これからも一緒に頑張っていきましょう！」という意気込みはキラキラ輝いてさえ見えました。女性はすぐに誰とでも仲良くなれるものだなぁ、と改めて感じほのぼのとしました。

「今回の内容をさらなるステップアップのセミナーを企画してほしい」
「テーマを絞ってもっともっと学びたい」
「とても分かりやすかった」
「法改正時にまた受講したい」
「知らないことばかりでとても勉強になった」
「受講したばかりだが忘れてる事もあり、もう一度受講したい」
「ほかの奥様方とお話が出来、とても有意義な時間を過ごすことが出来た」
などの感想をいただき、この経営塾が実のあるものになりました。

お世話になった講師と

熱心に受講中

（事務局　田尻　康代）

学院だより

伝統行事となるように

― 第一回熊歯衛祭 ―

11月23日（祭日）に本学院で、初めての試みである第一回熊歯衛祭を実施しました。当日はあいにくの空模様ではありましたが、無事に終えることが出来ました。学院生だけではなく来場された一般の方々にもこの熊歯衛祭を楽しんで頂けたのではないかと思っています。

この熊歯衛祭が行われるきっかけとなったのは今年４月の学生会設立打合会において、「学生を中心に何かを企画し楽しめる行事を行おう」ということになり学年ごとに意見をまとめました。その中で「文化祭をやりたい」という声が上がり検討を重ね実施の運びとなりました。

それからは毎週打合会を開き、どのような出し物をするか？費用はどのくらいかかるのか？一般の方々に楽しんでもらえるようにするにはどうすればいいのか等、話し合いを重ねました。また、熊歯衛祭を通して熊本歯科衛生士専門学院を知ってもらえる機会でもあるので、特に高校生に来てもらうために熊本県の各高校にポスターを持参し、更に地域の方々にも学院のことや歯科衛生士という仕事を知っていただくためにご近所の方々にチラシを配る等して周知活動に努めていきました。

しかし、３年生が臨床実習の為、学校には毎週金曜日のみの登院で、熊歯衛祭の計画については１、２年生に任せることになってしまいましたが、一つの目標に向け全学年がまとまり協力することが出来たと思います。

熊歯衛祭当日は学院生全員で開会式を行ったあと最終確認をしながら、「トラブルを起こすことなく熊歯衛祭を成功させることは出来るだろうか？一般の方々は本当に来て頂けるのだろうか？」と心の中で思っていました。しかし、熊歯衛祭が始まってみると、学院生は自分の役割の仕事をこなしながらもとても盛り上がっているようでした。一般の方々も、雨の中を続々と来場いただき、その中でもご家族で来られる方が予想以上に多く驚きました。特に印象採得のコーナーが子ども達に人気があったようです。校舎の入り口で行っていたくじ引きもとても喜んでもらえました。歯科医師会館で行われたミス熊歯科コンテスト、美心幼愛園の園児によるエイサーなどは、学院生と一般の方々が一緒になり盛り上がることが出来たと思います。

第一回熊歯衛祭は、歯科医師会の先生方や学院同窓会の方々など、多くの方々の協力を得て成功することが出来ました。第一回目ということもあり、今後に向けての改善点もみえてきました。一番来場して欲しかった高校生や同世代の方々の来場が少なかったことです。今後はもっと興味をもってもらえるような周知活動が必要だと感じました。今回の改善点を見直し、来年はパワーアップした熊歯衛祭を開催したいと思っています。熊歯衛祭が熊本歯科衛生士専門学院の伝統行事となるよう後輩に引き継いでいってもらいたいです。

今回、ご協力をいただいた全ての方々に、学生会を代表して感謝申し上げます。ありがとうございました。

（熊本歯科衛生士専門学院　３年　釘本彩香）

フリーマケット会場

自衛隊隊内生活体験を発表

報告　リニューアルされた口腔保健センター

熊本県歯科医師会口腔保健センターは、昭和53年に地域歯科医療の拠点とすべく、当時休日歯科診療と障がい者歯科診療に特化した診療を開始し、今日まで地域医療と地域福祉の推進に努めてきました。（現在は、障がい者歯科診療のみ）患者さんを抑制する障がい者専用のユニットを備えていないことや患者１人を診療するのに２～３名のスタッフが必要となるなどの理由で、一般歯科医院で障がい者診療を行うことは現実的には難しいところです。近年、障がいを持った患者さんが全県下から来院されるようになり、そのため常勤の歯科衛生士を配置し、スタッフの体制をより充実させて事業を実施しています。しかし今までの診療室の環境は、平成９年に新築移転した際に導入した機器（当時、日本自転車振興会から、設備整備の交付金受領）が経年劣化により診療に支障をきたし、４台のユニットは耐用年数7年を大幅に超えて使用している状況でした。障がい者の診療は、危険を伴う業務であり、安心・安全でより正確・迅速に実施するために、早急に機器を整備する必要に迫られていましたが、これらの購入には多額の経費を要し、医業収入だけでは賄うには困難であり、加えて自己財源も少ないことから、口腔保健センターの設備整備に何とか支援を受けられないか様々な努力をして参りました。この度熊本県と熊本市より支援していただけることとなり11月19日（月）に新しい機器が搬入されましたのでここにご報告いたします。

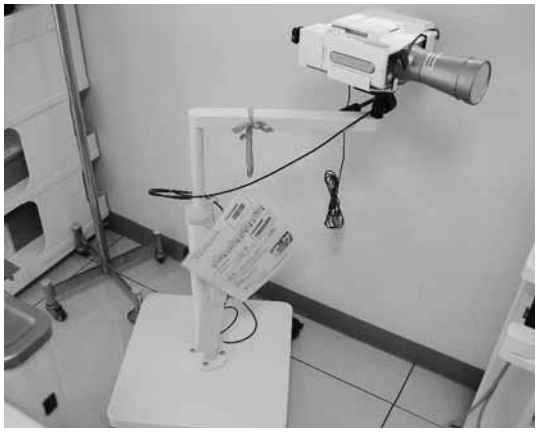
口腔保健センター購入機器

タカラ　一般用ユニット　２台
オサダ　障がい者用ユニット　２台
オサダ　ポータブルユニット
ペンタックス　内視鏡一式
オサダ　ポータブルデジタルレントゲン
ヨシダ　レストレイナー

一般用ユニット

障がい者用ユニット

ポータブルユニット（左）と内視鏡一式（右）



ポータブルデジタルレントゲン

レストレイナー

リニューアル前

リニューアル後

（広報　加藤　久雄）

年男・年女インタビュー

①氏名（敬称略）
②生年月日
③今年の抱負
④昨年のニュース（出来事）の中で、どんな事が印象に残りましたか
⑤いま関心があることをお聞かせください
⑥あなたの健康法を教えてください

あるがままに

①工藤　喜孝
②大正６年11月２日
③健康でつつがなく過ごす
④友人の旅立ち（同級生が少なくなったこと）
⑤特になし
⑥あるがままにあらがわず生きる（自分流で）

気力を保って

①片岡　淳吉
②昭和４年３月20日
③この歳になるとたいした抱負もありませんが体力の衰えは老いの現実として仕方ないとしても気力の若さだけは保ってお荷物にならない晩節でありたい。
④衆院選の結果。
⑤料理の幅を拡げたい。
⑥特に健康法はありません。

生涯青春

①秋山　恭介
②昭和４年10月13日
③病気で衰えた筋肉を回復させて5000歩以上歩ける様になる事。（７月急性心筋梗塞でバイパス手術を受け60日間入院療養をした）
④ロンドン五輪の日本選手の奮闘により獲得したメダルが増加した事。
⑤本棚に眠っている積讀の本を読む事。
⑥食べ過ぎない事。減塩に努める。野菜を多くとる。

目標に向って

①鹿井　省文
②昭和４年10月16日
③聖路加病院名誉院長の日野原先生の生き方に共鳴していますので目標に向って生きたいと思っています
④25年振りにお世話になった先生夫妻長男夫妻との再会です
⑤自民党の政権の誕生
⑥庭の手入れ（芝刈り等）　徒歩での買物

生涯現役で

①一瀬　英輔
②昭和16年１月12日
③今年はともかくつつがなく過ごさせて良かったと思える年にしたい。
④国家防備の強化
⑤高齢者証明書を見せないのに容貌で百円割り引かれたことのショック
⑥歯医者として、生涯現役で頑張ること

可愛い孫

①関　　剛一
②昭和16年１月29日
③時の過ぎゆくまゝに……。
④孫が５人となり出費多産になった事かな…。でも可愛いかね…。
⑤国の社会保障改革　超高齢化社会に於ける特に医療介護の充実
⑥ゴルフ、魚釣り、盆栽をしながら心と体をケアする事。

メタボ克服

①内田　　隆
②昭和16年２月13日
③メタボ克服
④政治家のだらしなさ
⑤原発問題
⑥腹八分、散歩

就寝前のストレッチ

①横山紘二郎
②昭和16年２月26日
③当地天草郡市歯科医師会会長久々山氏容認の市日中友好協会会長として、日中の友好と更なる中国語の研鑽。
又、学生時代に嗜んだギターの再度の練習。
④尖閣諸島の領有権に起因した。中国での暴徒による反日デモで、トヨタ車所有の中国人が同じ中国人により、殴打殺害された事件。
⑤北朝鮮による日本人拉致問題。特に横田めぐみさんを早く両親の元に戻してあげたい。北朝鮮に対して強い憤りを感じる。
⑥就寝前のストレッチ運動。年に二、三度の海外旅行（主に中国）。
中国人スナックでの飲酒、唱歌、談笑、週一、二度の自宅での麻雀。

日々悔いのない生き方を心がけたい

①若江　秀敏
②昭和16年３月４日
③自分に出来る仕事が多くの人に喜んでもらえるように、日々を悔いのない生き方を心がけたい。
④金環日食：日本列島を縦断し、多くの地域で観察された金環食は、932年ぶり。
ロンドンオリンピック：日本人の活躍、38個のメダル獲得。
衆議院の解散・総選挙
⑤再生医療：ＥＳ細胞（胚性幹細胞）やiPS細胞（人工多能性幹細胞）等による生殖医療補助技術
2013年の政権がどのような政治を行なうか。
⑥ストレスを蓄積しないように、仕事とそれ以外の事柄について、区別をつけ、一日一日を楽しく過ごすこと。

地球からエネルギーをもらう

①那須　智治
②昭和16年３月22日
③臨床医として生涯現役でありたいので健康増進と保持に努めること
④低迷する政治　衆議院解散
進まぬ復興　異常気象による自然災害
⑤古文書（相良）を読む　種田山頭火と遊ぶ
兼業農家として販売の拡大
⑥土に触れ　野菜に語りかけ、地球からエネルギーをもらう

健康維持に努めたい

①宇治　道孝
②昭和16年３月31日
③毎年減少する青春時代の友人となるべく多く動き廻り接し健康維持に努めたい。
④1972年の同窓会支部発足から40周年を迎え九州地区歯科学会と同時開催された折り母校、同窓会本部、九州各県より多くの会員と語った事。
⑤手入れした注文竿で海原の潮風を受け対象魚との対面を望む。話し始めた２才の孫の成長
⑥万歩行

健康法は早起き早寝の早朝散歩

①元島　博信
②昭和16年４月20日
③「われ男の子、意気の子、名の子、剣（つるぎ）の子、詩（うた）の子、恋の子、あゝもだえの子」（鉄幹）年は取ったが今年もこう生きたい。
④山中教授のノーベル賞・受賞
ロンドンオリンピック
尖閣問題
⑤総選挙で自民党が大勝した。
経済をどう立て直してくれるか。
⑥早起き早寝の早朝さんぽ（早寝早起きとは少し違う）

よく遊び、よく学ぶ

①武末　憲一
②昭和16年４月26日
③健康で歯科治療が現役で出来るよう頑張ります！
④ロンドンオリンピック（柔道男子が金メダルナシ！）…クソ！
⑤iPS細胞の臨床応用を早くして下さい！
⑥よく遊び！よく学び！適当に働く！

ゴルフを続ける

①坂井　　満
②昭和16年５月23日
③健康であり、そこそこの仕事と月２～３回程度の楽しみとして愛好するゴルフが出来るように、大過なく一年を送れること。
④尖閣諸島国有により端を発した傲慢な中国の行動と略奪に走る民衆の姿。微かに記憶に残る終戦時の満州での我家の家財道具一切略奪していったことが重なり、60数年も経った今も進歩がなく、民族の低さを感じます。
⑤東京に住む長男の宮古島出身の嫁が孫一人つれて、二度目のお産で、八代に夏頃帰ってくることの楽しみと、最近ゴルフの飛距離が益々落ちたこと。
⑥特にありません。こゝ20年程、風邪一つひいたことがなく、健康な体（足は短いが）に産んでくれた両親に感謝あるのみ。

バドミントンで汗を流す

①中原　孝典
②昭和16年５月25日
③健康に気をつけて、地域歯科に貢献して、特に高齢者が多いので義歯を中心に歯の健康を守って行きたい。
④ロンドンオリンピックの日本人選手の活躍
iPS細胞の研究で山中教授のノーベル賞受賞
個人的には九州歯科医学大会囲碁の２～５段の部で２勝出来た事
⑤社会保障の充実と歯科医療の将来性について
⑥現在万歩計を使用して五千歩を目標にウォーキングをしている
又体調を見てバドミントンを週１回行って汗を流しストレス解消をしている

初心に返る

①河上　　正
②昭和16年８月４日
③初心に返って、日々過していきたいと思います
抱負ではありませんが横田めぐみさんを両親の元へ返して上げたい。
④嘘か誠か？西村参議院議員の週刊文春記事
⑤日本の将来と中国の現在
⑥なるべく歩くことを心がけています

人に感謝すること

①青山　雅子
②昭和16年12月12日
③マイペースで仕事を続けたいと思っています。
④政治、経済がいろいろ変動してあまりにも目まぐるしい。
⑤周囲の人に感謝していくことに関心があります。
⑥歩くこと。病気して、14kgやせたので動きやすくなりました。

体に良い事を

①真方　貴生
②昭和28年１月６日
③還暦になるので、運動とか体に良い事を始めようかと考えています。
④７月の水害：身近な自然災害の怖さを感じました。
⑤過重圧の歯軋りが改善しない患者さんに対する対応。
悪戦苦闘中です。
⑥僅かな時間があればできるスロー筋トレ（DVD見ながら）
肩甲骨運動・腰痛予防体操（you tale）。
あとなるべく車を使わないで、歩くことなどです。

リニューアルと断捨離

①西田　宗剛
②昭和28年３月７日
③元気で１年を送る。
④診療所を新しくしたこと。
⑤断捨離
⑥大きな鏡で自分の後ろ姿を見たら、お尻が垂れていた。
年には逆らわないこと。

ストレスをためず

①斉藤　　朗
②昭和28年３月９日
③不況の中むつかしいと思うが、健康に留意して現状維持を目指す。
④７月の九州北部豪雨による被害。
当院の患者さんも数名被害にあわれました。
⑤熊本市の５年後は？シャッター商店街にならないことを祈る。
⑥毎日、徒歩での通勤。
ストレスをため込まない。

スクアレンとFFCが健康の秘訣

①谷口　守昭
②昭和28年３月20日
③還暦を機に今までの人生をリセットし、新たなことに挑戦したい。
④１、山中伸弥教授のノーベル医学賞受賞：歯科の分野でもiPS細胞の応用により骨組織の再生のみならず歯根膜組織さらには歯牙そのものの再生ができるようになる可能性がある。
２、中村勘三郎さんの訃報：自分より年下の人の死は悲しいし、人事ではない気がする。
⑤来週衆議院選挙の総選挙が行なわれるが、この国の舵取りをどの政党が担うかが今最大の関心事です。自民党、民主党の失政後の建て直し日本の再生をどのように行っていくかが課題だと思います。
⑥１．毎朝自分独自の体操を20年以上続けていること。
２．スクアレンとFFCを30年以上飲み続けていること。

過疎化の進行が心配

①木下　友晴
②昭和28年４月13日
③山鹿市になったものの、商店・交通機関はなくなり、過疎化が進んでいる。
当然歯科の受診率は減少、
企業努力はしているものの都市と田舎、同じ物差しで計るのはどうかと思います。
④原発・TPP・憲法改正について
⑤衆院選、市長選どの人が正しいのか？
政党ではなく、人物で選ぶ
⑥サプリメント・健康器具３種類活用

熊本大水害の復興を祈る

①工藤　隆弘
②昭和28年４月29日
③健康に気をつけながら、関心のある研修会には積極的に参加すること
④７．12熊本広域大水害
植木温泉も大きな被害を受けました。
一日も早い復興をお祈りしてます。
⑤東日本大震災は大きな警告を与えました。
未来の為に今何が大事なのか、色々と考えさせられます。
そうした事を心においてできる事にとりくんでいきたいと思っています。
⑥犬の散歩とゴルフ
やはり続けていくことが大事だと思います

家族みんなが健康で健やかに

①市原　誓志
②昭和28年５月５日
③家族のみんなが健康で健やかな日が送れる事
④６月に歯の衛生週間事業（阿蘇の歯まつり）が豪雨で中止になり７月は病院、自宅が水に浸かった事
⑤世界各国のリーダーが変わりその中で領土問題や景気の動向などこれからの日本の行く末に関心はありますが、目の前の事として異常気象による再度の水害が起きないか心配
⑥腹８分目と適度な運動

何でも楽しんでやることが大事

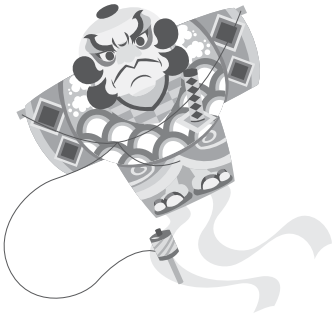
①中川　純一
②昭和28年５月20日
③現在の環境（年齢・立場）でできること、やらなければならないことをやる。
④iPS細胞による再生歯胚の研究
⑤病院歯科を八代に誘致すること。
⑥仕事や遊びに限らず何でも楽しむようにする

無理をしない

①廣田　達也
②昭和28年５月22日
③思い悩まず、無理をしない。
④テレビや新聞での報道が信用できない点。
週刊誌やスポーツ新聞の小さな記事にこそ真実が書かれている気がします。
⑤患者さんの費用負担が増えないようにして欲しい。
特に70～75才の方の１割負担は死守して欲しい。
⑥時々ウォーキング、時々スイミング

病気を意識しない

①清水　弘光
②昭和28年５月27日
③分相応
④消費税増税
⑤iPS細胞
⑥病気を意識しない



マイ電動歯ブラシの製品化

①尾上　　宏
②昭和28年９月19日
③60才からの再スタート
④公約外の事を当然として実行する政治
⑤マイ電動歯ブラシの製品化
⑥毎日、朝夕の愛犬との散歩

長生きせなんバイ

①奈良　健一
②昭和28年９月22日
③とにかくも健康でいること。
現在まで大きな病気もせずに仕事も遊びも出来る健康な体にしてもらった両親に感謝しています。55才過ぎてからでしょうか感謝という言葉が身に沁みるようになりました。
④孫の誕生です。自分自身が大人になりきれていないのに嬉しいんだけど変な感じです。あまりにも人生は理不尽な事が多く長生きはそこそこにと思っていましたが、なんとなく孫が出来たらこりゃ長生きせなんバイと思う今日この頃です。
⑤ダイエットかな…。今まで暴飲、暴食で体をイジメていた私が10月から炭水化物ダイエットを始め、１ヵ月半で２キロ減少しました。ゴルフの飛距離がどうなるのか楽しみです。しかし今の世の中変ですね官僚も政治家も国民もすべて名誉、権力、金銭欲だらけ。全く欲のないのも困りますが人生って面白いものですね。
⑥好き放題に生きてきたからなんとか今があるのでしょう。あとは神様におまかせします。

我が家のインフラ整備

①前田　章二
②昭和28年10月３日
③我が家のインフラ整備
（特にネットワーク関係）
④オサマビンラディン死亡
（Seal Team 6 の活躍）
スティーブジョーブズ死去
⑤③と同
⑥ストレスをため込まない。

タウリン効果による肝機能改善

①中山　正純
②昭和28年10月10日
③今年３月９日（土）～10日（日）に、所属しているスタディーグループ熊本歯科三水会の「50周年記念学術講演会」が開催されるので、これに全力投球！
④山中伸弥京都大教授が、iPS細胞にて、ノーベル医学・生理学賞授賞
⑤デフレ脱却し、日本経済の再生
⑥タウリン効果による肝機能検査のGOT、GPT値の正常値への改善

基本に立ち返る

①塚本　卓也
②昭和28年11月７日
③還暦を迎えるにあたり、もう一度基本に立返る
④一昨年、昨年と続い天変地異の大災害
⑤現在の日本の政治、経済の混迷状態
国際社会においても弱体化する日本の立場
⑥何もないのが悩みの種
何をやっても三日坊主

体を鍛え直す

①宮坂　圭太
②昭和28年11月７日
③そろそろ晴耕雨読の生活に入ろうかと思っています。
海外ひとり旅、マグロ漁師生活のために体を鍛え直します。
④決まらない政治にいらいら、この国は反対があるといいことでも決めきれない。
⑤中国の台頭に負けるな！
⑥早寝早起き、夜中食べない事です。

コツコツ仕事を頑張る

①與儀　実彦
②昭和28年11月20日
③いままで通り、コツコツと仕事を頑張ること
④７月にあった災害（阿蘇の水害）
⑤総選挙（衆議院選挙）
低迷している世界経済
⑥週に一度のジムとゴルフ

筋トレとテニスで体調管理

①大塚　志郎
②昭和28年11月21日
③体調を管理して、ケガをしない事
④インプラントバッシング
⑤子供の進級
⑥週３回のテニスとスポーツ倶楽部での筋トレ

外出を増やす

①簑下　隆盛
②昭和28年12月７日
③外出を増やす
④特になし
⑤ストレッチ・旅行
⑥よく食べる事

考えこまずくよくよしない

①山本　浩喜
②昭和40年１月26日
③健康第一、コンスタントにゴルフで90台前半を目標に頑張る
④遼君２年ぶりの涙の優勝
⑤どうしたら頭がよくなるか知りたい。
⑥何事も考えこまずにくよくよしない事。

決してあきらめない

①深浦　武志
②昭和40年４月８日
③去年（12月）に決意したことを今年、実行すること。
④iPS細胞の発見に尽力を尽した
高橋和則講師の「決してあきらめない精神」
⑤臨床についてもうワンステップアップすること。（いろいろな分野で）
⑥好きなものを食べて好きなことができる環境をつくる。ストレスをもち越さないこと。

新たなビジネスモデルの創造

①我那覇生純
②昭和40年５月18日
③１．歯科医療の新しいビジネスモデルを創造したい。
　２．人を育てる。
　３．自分自身の技術・知識を磨いていく。
④特になし
⑤特になし
⑥12年後の巳年の時に、またこの原稿を書けるように健康でいたい。

無かった事に

①嶋田　英敏
②昭和40年５月18日
③熊本歯科三水会五十周年記念講演会を無事に終わらせる。
④未だに松野頼久に支持者がいるという事
⑤CVN-75「ハリー．Ｓ．トルーマン」で行われる無人機X-47Bの運用試験。
⑥都合の悪い事は無かった事にする。

スキルアップを目指す

①久保　　隆
②昭和40年６月26日
③色々な事に興味をもち、チャレンジしてスキルアップする事
④オリンピックでの日本選手の活躍
⑤ジョギング
　山登り
⑥ストレスをためない、自転車通勤
　よく寝る事、適度な運動

何事にも一所懸命

①川瀬　博美
②昭和40年８月30日
③仕事も遊びも何事に関しても一所懸命にがんばる。
④・第１回目の熊本城マラソン
　・ロンドン五輪の日本人選手のメダルラッシュ
⑤マラソン
　山登り
⑥週１回のジム、週１回のソフトテニスで体を動かすこと。

健康法は適度なストレスをかけること

①井口　泰治
②昭和40年９月９日
③何もない平凡な一年になれば良いなあと思います。
④領土問題。解決の道はあるのでしょうか？
　なくても良いからこれ以上こじれないでほしい。
⑤iPS細胞で医療はどうなるのか？
　歯科医療に明るい未来はあるのか？
⑥心身ともに適度ストレスをかけるように心がけています。

70cmオーバーの石鯛を釣り上げる

①齋木　智章
②昭和40年９月14日
③・石鯛の70cmオーバーを釣る。
　・ゴルフで80代を出す。
④2011年に比べると、印象が薄い一年でした。
　強いて言えば、日中韓の領土問題
⑤衆院選で何が変わるか！
　あまり期待はしていないけど…。
⑥ほぼ毎日行っているゴルフの打ちっぱなし！
　「いつになったら上手になれるのやら…。」

エアロバイクで健康に！

①川口　　孝
②昭和40年10月３日
③デジタル・デンティストリーの推進
④山中教授（iPS細胞）のノーベル賞授賞
⑤CEREC Omnicam
⑥毎朝60分のエアロバイク。

無病息災を祈願

①鬼木　泰久
②昭和40年10月15日
③無病息災である事。
④京大の山中伸弥教授のノーベル生理学医学賞を受賞
⑤消費税がどこまで上っていくのか・原発の行く末
⑥早寝早起き・　腹八分

学術と経営のバランスを考える

①城　　敦哉
②昭和40年10月21日
③・学術と経営のバランスを考える
　・スタッフの笑顔を増やす
④・京都大学山中教授のノーベル医学・生理学賞の受賞
　・尖閣国有化
⑤・スタッフのマネジメント
　・アジア近隣諸国との関係
⑥・週２～３日のジム通い

更にアクティブに！

①林　　昭宏
②昭和40年11月４日
③医院の体制の確立と患者さん個々に合った診療を行うことです。それから公私共に、更にアクティブに！
④年末の衆議院選挙。様々な期待を込めて…
⑤今年で５才になる息子の成長です。
⑥良く睡眠をとること。
　第２回熊本城マラソンに向けたランニング。

一歩踏み出したい

①京極　和彦
②昭和40年11月20日
③目標（夢）に向かってもう一歩踏み出したいと思っています。
④オリンピックでたくさんのメダルを獲得した事
⑤これからの日本がどうなっていくのか
　趣味のウェスタン乗馬
⑥体を動かす事（ジョギングなど）

糖質制限

①本田　康生
②昭和40年11月22日
③病気にならないこと
④山中教授のノーベル賞受賞
⑤古いレコードの再生
⑥糖質制限

体力増進が目標

①木屋　節弘
②昭和40年12月28日
③体力増進
④ヒッグス粒子の発見
⑤・歯科治療全般
　・スタッフの育成
⑥・体を冷やさない
　・腸内細菌叢のバランスを保つ

小太郎やせてね！

①坂口　泰子
②昭和52年５月４日
③しっかりと目標を立てて、それに向かって努力すること。
④１．妹の結婚
　２．新居への引越し
　３．ロンドンオリンピック
⑤１．愛犬、小太郎のダイエット
　　（コーギー）
　・ぎんさん４姉妹の長寿の秘訣
⑥夜更かしせず早目に寝ること
　野菜を多くとること。

増患が最大の関心事

①片山　泰紀
②昭和52年12月15日
③ゴルフのスコアを頑張って縮めたい。
　そして増患。
④自分の開業が最大の出来事 。
⑤子供の日々の成長。
　そして増患。
⑥肉体面では運動。
　精神面では増患。

郡市会だより

花の都と湘南の旅

― 会員研修旅行 ―

荒尾

11月17日（土）、18日（日）の両日、荒尾市歯科医師会では、恒例の研修旅行が行われた。

当日は参加者の日頃の行いのせいか、朝のＪＲ荒尾駅での集合直後から、突然車軸を流すような大雨。

その後、福岡空港から羽田空港へと秋雨前線の通過とともに大揺れの空の旅となった。

東京到着後は、宿の「新橋愛宕山東急イン」に旅装を解いて、知人との邂逅や御目当ての美術館めぐりなど午後の時間を過ごしたのち、夕刻７時から、原宿表参道の中華飯店「南国酒店」に集合。

フカヒレや北京ダッグ等の豪華料理に舌鼓を打って堪能。店を後にして豪雨の夜の東京をさ迷い、田畑会員の同級生がオーナーの酒場で大いに痛飲した。

翌朝は在京の家族と過ごす会員や大学の同窓生との再会をする人など、いくつかのグループに分散。

筆者は“秋の鎌倉と江ノ島観光”コースに参加したのですが、ＪＲから私鉄へ、江の電へと目まぐるしく満員電車を乗り継いで、なんとか鎌倉に到着し、名所旧跡の寺から寺へ、はたまた神社から神社へと次々に参詣して行った。

秋の行楽シーズンとあって、どこも観光地は人また人で、ごった返してた…。

右も左も分からない“お上りさん”たちを案内していただいたのは、福嶋修治荒歯会会長その人であった。会長は東京歯科大学卒業にして慶応大学付属病院勤務医であったシティーボーイ！

我々を辛抱強く誘導し、切符の買い方からホームの立ち位置まで懇切丁寧に指導していただく様は、あたかも無知な羊たちの群れを連れて荒野を旅する羊飼いといったところであった。

鎌倉の大仏前で

連れられて行く私達は、この見知らぬ空の下ではぐれてしまっては、到底生きて荒尾に帰り着くすべはないのでは…と思える程の心細さ。ただただ必死に会長の後ろをひたすらついて行く、けなげな私達であった。

なんとか鎌倉・江ノ島の観光を終え、羽田空港で全員合流し、空路福岡へ、福岡空港から高速バスへ乗り換え、深夜11時過ぎに終点荒尾駅に無事到着。

羊群声なく牧舎へ帰る…強行軍を終えて、さっそく翌朝から始まる、日々の診療にそなえる次第であった。

（原口　　泰）

郡市会だより

歯科診療時の偶発症

― 合同学術講演会 ―

下益城

11月10日（土）県歯会館にて宇城三郡市合同学術講演会が行われた。講師に国保水俣市立総合医療センター歯科口腔外科　牧　正啓部長をお招きし「歯科診療時偶発する偶発症－予防と対策―早急な対応を要する口腔外科処置」との演題で講演いただいた。

我ら医療従事者が、日常の診療中で遭遇する可能性のある偶発症やその対処方について又、予防法についてご自分の体験談を交えながら詳しくお話しいただいた。

全身の偶発症を引き起こす原因の多くが精神的・心体的ストレスであると言う事。それを予防するには患者と歯科医師間の信頼の確立が鍵との事であった。しかし、なかなか困難であることはご承知の通りである。牧氏ご自身も患者のストレスを和らげるために診療室に音楽をかけたら患者に耳障りだと言われ止められたエピソード等お話しいただいた。また偶発症の既往のある患者の場合、静脈鎮静法や笑気麻酔、抗不安薬の使用も有効であるとの事であった。これから高齢化社会を迎え慢性疾患患者の歯科治療は増加傾向にあり、それに伴い偶発症を招く可能性も高くなるであろう。診療前に患者の体調チェックを十分に行い出来るだけ未然に防ぎたい。

有病者に対する注意を

（田染　直子）

山から海へ

― 親睦旅行 ―

阿蘇

阿蘇市歯科医師会の１泊２日の親睦旅行が、11月17日（土）18日（日）にわたって行われた。本会においては、２年に一度会員同士の親睦を深める目的で企画されており本年は天草ホテル松泉閣ロマン館にて行われた。

当日は、15名の会員が参加した。約半数が歯科医師会館に午後３時までに集合して送迎バスにて天草にむかった。また、残り半数は自家用車等にて、乗合などで午後５時30分までに旅館に到着出来るようにむかった。宴会は午後６時30分からなので、それまで温泉につかったり、散歩したり、おみやげを買ったりと、各々自由な時間を過ごした。会の初めに市原会長より挨拶があった。今年の阿蘇は大雨による被害など大変な一年であったことなどである。宴会では武藤会員の御友人から新鮮な海の幸の心遣いをいただくなどして天草の食材を堪能した。お酒もすすみ、糖尿病歯周病連携やその経過などの話で多いに盛り上がった。夜中には久しぶりに学生のように麻雀を楽しみ時間が過ぎて行った。翌日は全員で朝食を取り一本締めで会はお開きとなった。

海の幸に舌鼓

（丸野　克之）

郡市会だより

盛りだくさんツアー@雲仙

― 親睦旅行 ―

天草

11月24日（土）、25日（日）の2日間に渡り、毎年恒例の天草郡市歯科医師会の親睦旅行が行われた。行き先は海を越えて「雲仙」。蟹、バイキング、焼き牡蠣などのグルメと、フェリー、温泉、紅葉、山、地獄、さらに滝を堪能する濃密な2日間であった。

土曜の午前の診療を終えた参加者は、午後には鬼池港に集合し、雲仙みかど旅館本館へと直行。午後5時より宴を開始し、日頃の疲れを癒し明日への英気を養いつつ、会員の親睦を深めた。温泉は言うまでもなく観劇なども楽しみ、その後は全ての会員が1つの部屋に集合し、体力の続くまで長い夜は続いた。

翌日は、朝から仁田峠に向かい、ロープウェイで山頂を目指し、健脚の会員は約30分はかかる山道を、歩いて下りその後、硫黄の煙立ち込める雲仙地獄を訪れ、戸ノ隅の滝でマイナスイオンを注入した後、一様に家庭用エプロンを装着して炭火で焼いた牡蠣を頬張った。帰りの口之津港では、各々カステラやケーキなどを片手に、2日間を名残惜しみながら帰路についた。

好天に恵まれた親睦旅行

今回は、無料での旅行だったが、その準備、運営に携わった会員の方々に感謝をしつつ、ご報告を終えたい。　（蓮田　政仁）

本の紹介　秋山恭介会員

『「青春」という名の詩』
サムエル・ウルマン
（産能大学出版部、1986年）

『青　春』
宮澤次郎
（竹井出版、1988年）

心のリフレッシュに。（青春とは人生のある期間ではなく、心の持ち方を言う）

新入会員 NEW

①今もっとも関心のあることは何ですか。
②自分が希望する歯科診療とはどのようなものですか。
③他の歯科医院にはない自分の医院の特色を教えてください。
④今後の抱負は何ですか。

一般会員

志方　圭介
（シカタ　ケイスケ）

上益城郡甲佐町
岩下65-1
りんご歯科なるせ

①予防歯科。
少子高齢化時代の歯科への影響。
②患者さんのニーズに合った診療を行い満足していただくものと考えております。
③特別なことではないですが患者さんの１人１人に合った説明、治療を行うように心がけており、歯科以外の日常的会話も積極的にするようにしております。
④地域に根ざした医療を目指して行きたいです。
よろしくお願い致します。

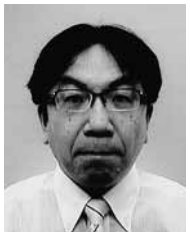
内山　順誠
（ウチヤマ　ユキトモ）

人吉市九日町６番地

医療法人社団内山会
内山クリニック

①歯科経営について。
インプラント治療について。
②地域医療に貢献するべく一度手をつけた歯は最後まで治療するという責任のある行動、誠実に実直に患者様と向き合っていくこと。
③内科と併設しているため、全身的な観点から治療が行うことができる。
又、老人保健施設とも提携しているため、口腔ケアや老健の御利用の治療にも力を入れている。
④地域の患者様の信頼を得て、治療の選択肢を数多く提供できるように勉強し、頑張っていきたい。

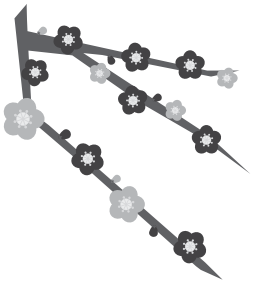
親子会員

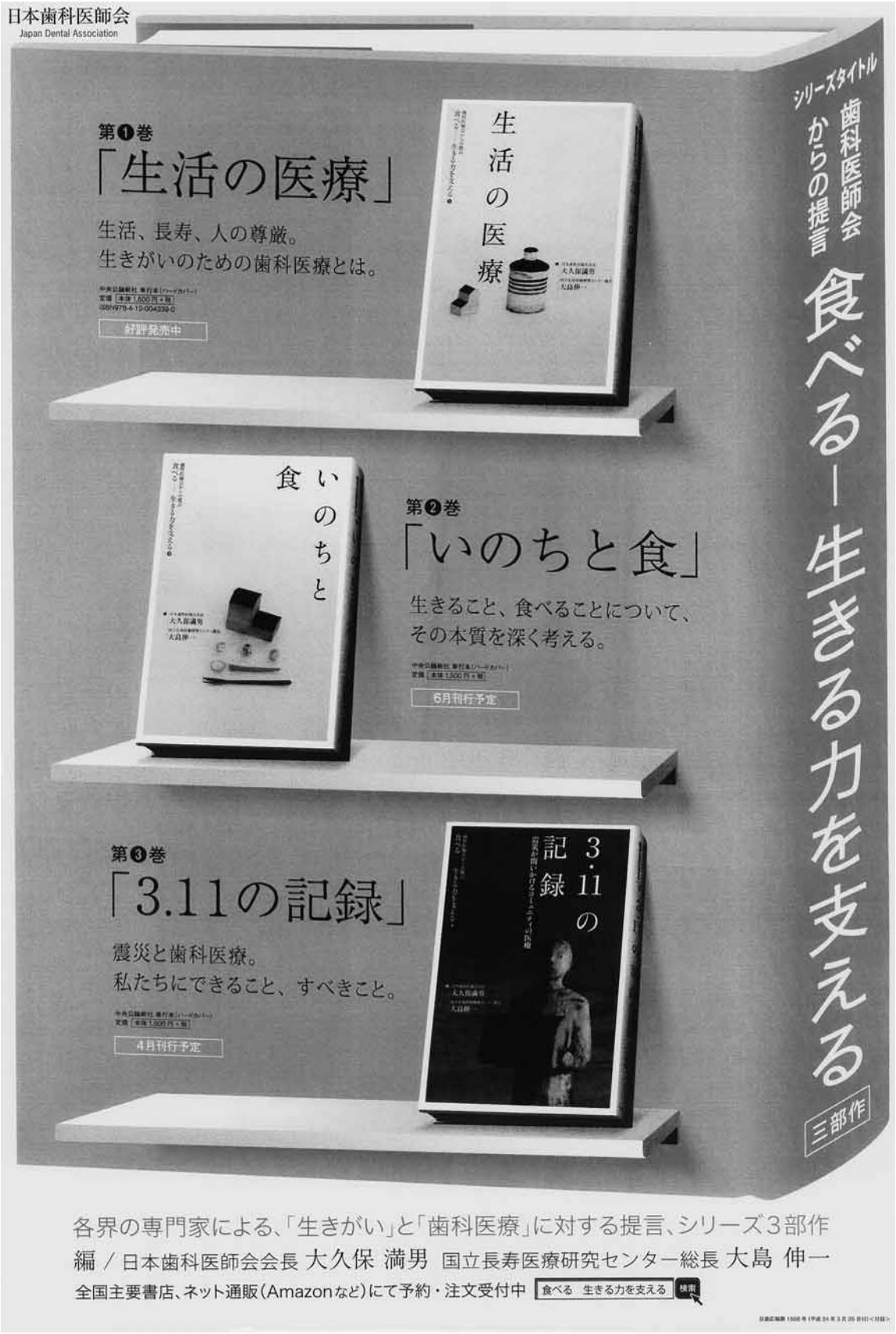


松枝　勝興
（マツガエ　カツオキ）

八代郡氷川町
宮原795-1
松ケ枝歯科医院

①衆議院選挙（これからの日本のありようが気になります）。
②患者さんに納得してもらえる診療を行なってゆきたい。
③地域に根ざした診療。
④少しずつ勉強してできることが多くなるようにしたい。




日本歯科医師会
Japan Dental Association
シリーズタイトル
歯科医師会からの提言
食べる―生きる力を支える
三部作
第❶巻
「生活の医療」
生活、長寿、人の尊厳。
生きがいのための歯科医療とは。
好評発売中
生活の医療
第❷巻
「いのちと食」
生きること、食べることについて、
その本質を深く考える。
6月刊行予定
いのちと食
第❸巻
「3.11の記録」
震災と歯科医療。
私たちにできること、すべきこと。
4月刊行予定
3・11の記録
各界の専門家による、「生きがい」と「歯科医療」に対する提言、シリーズ3部作
編 / 日本歯科医師会会長 大久保 満男 国立長寿医療研究センター総長 大島 伸一
全国主要書店、ネット通販(Amazonなど)にて予約・注文受付中
食べる 生きる力を支える
検索

H.25.1

会　務　報　告

自　平成24年11月26日
至　平成24年12月24日

所管	日付	摘要	出席
本会総務	11月26日	第５回県保健医療推進協議会計画検討専門委員会（水前寺共済会館）	渡辺専務理事
	26日	第６回定款及び諸規則検討臨時委員会	蔵田委員長他全委員、小島副会長、渡辺専務理事、八木常務理事、牛島理事
	27日	九州地方社会保険医療協議会熊本部会（熊本市国際交流会館）	中嶋副会長
	28日	都道府県事務長事務連絡会（日歯会館）	澤田事務局長
		県へき地保健医療対策に関する協議会（熊本テルサ）	椿理事
		第８回理事会 （１）新入会員の承認（２）平成24年度総務部門の事業計画案 （３）平成24年度通常代議員会の日程案　ほか	浦田会長他加藤理事を除く全役員、伊藤学院長
	29日	職員人事評価打合せ	渡辺専務理事、八木常務理事、牛島理事
	30日	県健康教育推進学校表彰審査会（県庁）	宮坂副会長
	12月１日	県へき地医療支援機構講演会（市民会館崇城大学ホール）	椿理事
		第２回各郡市会長・専務理事連絡会議	浦田会長、宮坂副会長、渡辺専務理事、松岡・勇・八木常務理事、牛島理事
		県警察医会研修会（県警本部）	小島副会長
		新樹会望年会（ニュースカイホテル）	中嶋副会長、渡辺専務理事
	２日	日歯災害コーディネーター研修会（九州地区）（福岡県歯会館）	渡辺専務理事、勇常務理事、牛島理事
		県三師会剣道大会（熊本公徳会武道場）	八木常務理事
		県三師会剣道大会懇親会（熊本市）	浦田会長、小島副会長、八木常務理事
	３日	月次監査 10月末会計現況	片山・西野監事
		総合政策推進プロジェクト会議 （１）対外ＰＲ（２）衛生士需要問題	小島副会長、渡辺専務理事、八木常務理事、伊藤学院長、牛島・椿理事、熊本市舩津会員
	４日	第３回日歯歯科保健医療に関する情報戦略ワーキンググループ会議（日歯会館）	渡辺専務理事
	５日	茨城県歯会創立百周年記念式典・講演会・祝賀会（水戸プラザホテル）	浦田会長
	６日	第17回常務理事会 （１）平成25年度各委員会の事業計画案並びに予算案（２）九地連協議会への提出協議題 （３）一般社団法人移行後最初の役員の退職金　ほか	浦田会長他宮坂副会長を除く常務理事以上全役員、牛島理事
	７日	県医療・保健・福祉連携学会第３回企画委員会（県医師会館）	小島副会長
	10日	職員冬季賞与支給式	浦田会長
		損保ジャパンとの懇談会（熊本市）	浦田会長、小島・中嶋副会長、渡辺専務理事、八木常務理事、牛島理事
	12日	第734回支払基金幹事会（支払基金）	浦田会長
	13日	県体育協会第３回財務特別委員会（ホテル熊本テルサ）	浦田会長
	14日	第16回新法人設立検討臨時委員会	牛島委員長他全委員
	17日	熊本感染予防対策研究会世話人会（熊本大学医学部付属病院）	牛島理事
		全国禁煙推進研究会実行委員会（県医師会館）	八木常務理事、澤田事務局長
	18日	副会長会議	浦田会長、中嶋・宮坂副会長、渡辺専務理事
		第18回常務理事会 （１）新入会員の承認（２）第16回中規模県歯科医師会連合会の提出協議事項 （３）熊日出版文化賞への応募作品依頼　ほか	浦田会長他小島副会長を除く常務理事以上全役員、牛島理事
	19日	支払基金審査委員懇談会（熊本全日空ホテルニュースカイ）	浦田会長
		8020支援事業第２回ワーキング委員会 （１）8020支援事業・医療機関連携研修会	宮坂副会長、田上・大林理事、川瀬委員長、城委員
	21日	国民医療を守るための総決起大会（日医会館）	浦田会長
		第２回県における医療費の見通しに関する計画検討委員会（熊本テルサ）	勇常務理事
	22日	がん患者歯科医療連携事業打合せ がん連携マニュアル作成	小島副会長、前田理事
学　術	12月２日	学術講演会（外傷歯の診断と治療） 受講者：175名　　講師：月星歯科クリニック　月星光博先生（愛知県開業）	浦田会長、小島副会長、椿理事、添島委員長他６委員
	８日	県がん患者医科歯科連携事業連携講習Ⅰ（八代会場）（八代医師会館） 受講者：54名	渡辺専務理事、牛島理事、清水副委員長
	11日	県がん患者医科歯科連携事業連携講習Ⅰ（天草会場・後半）（ホテルサンロード） 受講者：30名	中嶋副会長、松本理事、中村直委員
	12日	がん連携拠点病院との運営協議会 （１）連携講習開催と受講者数（２）県第２次がん対策推進計画（素案） （３）県第３次健康増進計画（21ヘルスプラン素案）　ほか	小島副会長、渡辺専務理事、松本・牛島理事
	14日	学術委員会 （１）２／３学術講演会（古賀先生）スケジュール（２）ＣＴネットワークシステム （３）松風講演会の講師選定　ほか	椿理事、添島委員長他全委員
社会保険	12月１日	社会保険個別相談会 相談者：２名	前田理事、田中委員長他１委員
		社会保険小委員会（１）周術期口腔機能管理の文書作成	前田理事、田中委員長

所管	日付	摘要	出席
社会保険	12月７日	レセプト事前チェックセンター 相談者：１名（来館・１名）	前田理事、田中委員長
	14日	社会保険個別相談会（山鹿市） 相談者：１名	中村悟委員
		社会保険個別相談会（玉名市） 相談者：１名	田中委員長
	19日	社会保険個別相談会（山鹿市） 相談者：１名	中村悟委員
	20日	保険個別指導（KKRホテル）	渡辺副委員長、中村悟・金本委員
	22日	社会保険委員会 （１）会員向け発刊物（２）個別指導立会い・相談会（３）がん連携講習２　ほか	中嶋副会長、勇常務理事、前田理事、田中委員長他10委員
地域保健	11月30日	笑顔ヘルＣキャンペーン反省会 （１）笑顔ヘルＣキャンペーン総括（２）中央イベント	田上・加藤理事、川瀬委員長他２委員
	22日	地域保健委員会 （１）8020支援事業	田上理事、川瀬委員長他全委員
広　　報	11月29日	広報小委員会 （１）会報12月号・第２回校正	佐藤委員長他２委員
	12月14日	広報委員会 （１）会報１月号・編集	加藤理事、佐藤委員長他全委員
	18日	テレメッセ打合せ （１）１月31日（木）放送分	加藤理事
	20日	広報小委員会 （１）会報１月号・第１回校正	加藤理事、佐藤委員長他３委員
学校歯科	11月27日	第77回全国学校歯科保健研究大会第１回準備委員会 日本学校歯科医会、県教育委員会、市教育委員会（１）準備委員会の設置要項 （２）正副委員長（３）大会の概要　ほか	浦田会長、渡辺専務理事、八木常務理事、大林理事、河原委員長他全委員
	12月18日	長洲町フッ化物洗口事業（長洲町）長洲町町長、行政、有明保健所	大林理事
	19日	学校歯科委員会 （１）スライド台本作り	大林理事、河原委員長他全委員
	20日	県PTA災害見舞金安全会判定審査委員会（県総合福祉センター）	西野監事
医療対策	11月30日	医療相談 紛争事例についての協議	冨屋理事、犬束委員
	12月８日	医療トラブル講演会 受講者：85名	浦田会長、小島副会長、冨屋理事、岡田委員長他全委員
	14日	医療対策委員会 （１）事例報告検討（２）委員提出協議会（３）理事報告	冨屋理事、岡田委員長他６委員
	21日	医療相談 紛争事例についての協議	冨屋理事、永松副委員長
センター･介護	11月30日	口腔保健センターカルテ・会計チェック（口腔保健センター）	五島委員
	12月５日	口腔ケア指導者養成研修会（人吉市カルチャーパレス）	今藤委員
	８日	口腔ケア指導者養成研修会（天草地域振興局）	青砥委員
		センター・介護委員会 （１）高齢者の口腔ケア推進事業（２）介護者歯科実技研修事業 （３）障がい児（者）口腔ケア地域リーダー育成事業　ほか	松岡常務理事、松本理事他６委員
	９日	熊日・スミセイさわやか介護セミナー（熊本日日新聞社）	松本理事
	13日	口腔ケア指導者養成研修会（御船町カルチャーセンター）	井手委員
	15日	介護者歯科実技研修会（１日目） 受講者：134名	浦田会長、松岡常務理事、松本理事、平井委員長他全委員
	16日	介護者歯科実技研修会（２日目） 受講者：115名	松岡常務理事、松本理事、平井委員長他全委員
	18日	口腔ケア指導者養成研修会（水俣市総合もやい直しセンター）	堀尾副委員長
	20日	口腔ケア指導者養成研修会（山鹿市鹿央総合支所）	平井委員長
		口腔ケア指導者養成研修会（阿蘇市農村環境改善センター）	松岡常務理事
総務･厚生	11月27日	総務・厚生小委員会 （１）平成25年度総務・厚生委員会事業計画と予算（２）身元確認等災害時備品管理 （３）災害マニュアル（４）代診派遣制度	牛島理事、池嶋委員長他１委員
	12月20日	総務・厚生委員会 （１）緊急時対応マニュアル（２）緊急時の備品（３）健康診断	牛島理事、池嶋委員長他全委員
学　　院	12月１日	全衛協専任教員講習会Ⅵ（名古屋市）	野中専任教員
		日本歯科衛生教育学会（至２）（名古屋市）	逢坂副学院長他２名
	12日	中島学園との打合会（学院校舎）	伊藤学院長他２名
	13日	学院役職員会（学院校舎）	伊藤学院長他２名
	17日	解剖学見学実習（福岡市）	伊藤学院長他３名
	21日	学院臨床実習場反省会 歯科医師：25名、歯科衛生士：39名	小島副会長、伊藤学院長他７名
国保組合	11月29日	第５回国保理事会 （１）組合員資格の取扱い（２）被保険者証のデザイン変更	浦田理事長他全役員
	12月７日	全協九州支部事務研修会	澤田事務局長他３名
事 業 課	12月６日	第４回奥様医業経営塾（第６講） 「クリニックのための相続対策・まとめ」	八木常務理事

事業課からのご案内

その1

団体定期（歯科医師会専用グループ保険）のご案内

保険期間　平成24年8月1日から1年間（中途加入できます）

★最高「２８００万円」保障！無診査で加入 OK！
★配偶者も１０００万円まで加入 OK！
★１年更新で配当金は加入者へ還元！
★個人保険より団体保険が安い！
★入院保障も１日１５,０００円まで OK！

団体定期保険は歯科医師会が契約者になり保険料を一括納付しています。
会員だけがいつでも自由に加入できる制度です。是非ご加入下さい！

その2

個人でご加入の保険も保険料納付は団体収納扱いでお願いします!

下記の保険会社と団体収納契約をしておりますので、歯科医師会の口座引落しがご利用できます。
保険料が団体割引でお安くなります。ご加入の保険内容に影響はありません。
手続きは簡単です。事務局が代行します。是非ご利用下さい！

かんぽ生命	第一生命	住友生命
日本生命	T&D ﾌｨﾅﾝｼｬﾙ生命	明治安田生命
朝日生命	富国生命	ｱﾒﾘｶﾝﾌｧﾐﾘｰ生命
ﾒｯﾄﾗｲﾌｱﾘｺ	NKSJひまわり生命	三井生命

＊詳細につきましては 県歯事務局 TEL:096-343-8020 担当　田尻 までご連絡ください

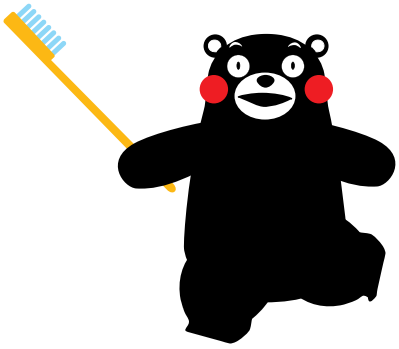
2 行事予定

3日（日）	学術講演会
5日（火）	第21回常務理事会
11日（月）	熊本型早産予防対策事業市民公開講座
20日（水）	第22回常務理事会
27日（水）	第11回理事会

熊本県ご当地よ坊さん

編集後記

会報作成に携わり10年、しかも最終チェックをするようになり約4年が経ちます。何度も何度も読み返し分かりにくいところはないか、もっと見やすくできないか試行錯誤を繰り返します。委員会だよりや郡市会だよりを執筆いただく会員の先生方には、ただただ感謝の一言です。講演会の記事も単なるありましたの報告ではなく講演を聞かなくても内容がある程度わかるようにお書きいただいています。長年、作成に関わると愛着も自然と湧いてきます。毎年行われる広報担当者会ではペーパーレス化の波が押し寄せ、メール等による配信が必ず協議に上がります。作成に携わる者としては、ますます会報を読んでもらえなくなるのではと危惧します。広報だからこそ無意識に抵抗している気がします。時々十数年前の会報を読むことがありますが、なかなか面白いものです。会報は、過去を振り返れる記録という点ではとても大切です。すぐに開かなくても暇な時、ページをめくってみては…　（HK）



くまもとサプライズキャラクター『くまモン』
くまもとサプライズ熊本県許可第1086号

8020 歯からはじめる。笑顔ヘルC

発行日／2013年１月15日発行
発行人／浦田　健二
発行所／社団法人　熊本県歯科医師会　〒860-0863 熊本市中央区坪井2丁目4-15
TEL.096-343-8020　FAX.096-343-0623
URL http://www.kuma8020.com
印刷所／コロニー印刷